

学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 4月号

令和5年 4月 6日

校長 大越 敏孝



ご入学・ご進級 おめでとうございます



汐見台小学校に続く「汐風海道」に暖かな春の風が吹く季節になりました。海道沿いの桜も子どもたちの進級や入学を待っていたかのように咲いています。保護者の皆様におかれましては、お子様のご進級・ご入学おめでとうございます。令和5年度が始まり、汐見台小学校は、児童数307名16学級でスタートしました。4月7日には新1年生35名を迎え入学式が行われます。今年度は4年ぶりに新6年生が入学式に参加し、新入生に歓迎のメッセージを伝え、校歌を披露します。

新型コロナウイルスへの対応が始まってから3年が経ち、新学期からマスク着用の考え方も見直されるようになりました。コロナ禍の3年間、学校行事が十分に行えなかったり、生活の中で様々な制限があったりして、子どもたちには、つらいことや悲しいこと、悔しいことも多かったことと思います。けれども、その困難を乗り越えた子どもたちです。これから学校の教育活動の幅を拡げていく中で、様々な経験や学びを通して、きっとたくましく成長していくことができると信じています。学校の様々な学習活動や行事については、子どもたちが主役となり、より主体的・創造的に活動できるようにしていきたいと考えています。そして、一日一日の教育活動の積み重ねを大切に、子どもたちの輝く姿をたくさん見つけ、みんなで認めていくことで、たとえ小さな成長であっても、友だちや教職員、保護者や地域の皆様と一緒に喜びあえるような学校を築いていきたいと思っています。

汐見台小学校は、今年で開校から13年目を迎えます。新6年生は、汐見台小学校が開校した年度に生まれた子どもたちでもあります。6年生の子どもたちと同じ時間を成長してきた汐見台小学校です。コロナ禍でできなかった創立記念行事もPTAのご支援をいただきながら今年度は実施します。

子どもたちの力をのばし、つなげ、互いにささえあい、学校だよりのタイトルである「学ぶところが輝く学校」をみんなで創っていきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様のさらなるご支援、ご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。



令和5年4月1日以降の学校生活における感染防止対策の見直しについて

令和5年3月27日付の茅ヶ崎市教育委員会からのお知らせの通り、4月から学校生活におけるマスクの着用については、**児童及び教職員についても「マスクの着用を求めないことを基本」と**します。様々な事情によりマスクの着用を希望したり、着用できなかったりする児童もいることから、マスクの着用の有無による差別・偏見等がないように適切に指導を行います。また、「換気」、「手指衛生」、「食事や会話のマナー」（声の大きさ・人との距離の確保等）や咳エチケットについても、引き続き場面に応じて指導します。

新型コロナウイルス感染症が、感染法上5類感染症に位置づけられる予定とされている5月8日以降の学校における対応については、改めてお知らせいたします。

登下校「あいさつ・見守り・交通安全」 ～交通ルールを守って安全に～

『年齢別歩行中の交通事故死傷者数（令和元年）』によると、**全年齢の中で際立って多かったのが7歳の交通事故による死傷者数**でした。特に入学した直後の1年生の事故や低学年の下校中や放課後の事故が目立っており「**魔の7歳**」と言われています。子どもは、大人に比べて視野がせまかったり、好奇心が旺盛であったりすることから、飛び出しや横断違反による事故が多いそうです。



学校でも指導いたしますが、ご家庭でも交通ルールやマナーについてお話いただければ幸いです。また、7歳前後の児童の事故防止のため、昨年度より2年生でも「黄色い帽子」を被ることをお願いしています。事故に遭わないよう、ご理解とお子様へのお声かけをよろしくお願いいたします。